

## プロセス安全Beacon 20周年を祝って

2021年11月



2001年11月



2021年11月

2011年11月



図1 20年にわたるプロセス安全Beacon

20年前、CCPSのメンバー企業の代表者が構成する集まりで、プロセス安全のために何か新しいツールを構築する事が必要と合意した。そのツールは第一線の従業員(主に運転員やメンテナンス員)のためになるものを意図したものであった。その結果としてCCPSのプロセス安全Beaconが誕生した。2001年11月の初版から毎月、委員会がテキスト文書にして発刊し、現在では30,000の定期読者にEメールで送られている。読者は数百人から始まり、今や推定で百万人まで膨れ上がった。

Beaconは、第一線の従業員にとっては、掲示板に掲示したり、ツールボックスミーティングで使用したり、などで共有することが出来、また人々にプロセス安全について再認識させるきっかけとして、プロセス安全のメッセージを提供している。

20年の歴史にわたり、200以上のBeaconが刊行されており、それらは

<https://www.aiche.org/ccps/resources/process-safety-beacon/archives>

のプロセス安全Beaconのアーカイブから利用することができる。

## 知っていますか

- プロセス安全BeaconはAIChEの刊行物の中で最も多く読まれている。世界中で推定百万の人がBeaconを読んでいる。
- 毎月、委員会はBeaconの題材を徹底的に調査し、内容に間違いがないことを確認し、読者に確実に役立つよう執筆している。委員会の20年にわたる努力は、称賛に値する。
- 現在、Beaconが40の言語で利用できるのは、的確な翻訳のために時間を惜しまない多くの熱心な翻訳者のおかげである。
- Beaconは全ての人が無料で利用できる。申し込みは、このリンクにアクセスすればいい。

[https://aiche.informz.net/AICHE/pages/Beacon\\_Subscribe\\_Page](https://aiche.informz.net/AICHE/pages/Beacon_Subscribe_Page)

- Beaconはコピーして配布することが許可されるのみならず、奨励もされている。
- Beaconで紹介している事故は、いくつかの原因に焦点を絞って説明されているが、大抵の場合、他にも事故の原因となる問題点が多く関与している。

## あなたに出来ること

- チームでBeaconについて話し合い、実務で活用できる重要な考え方を探求すること。
- Beaconを読んで以下の項目を自問すること：
  - 自分の職場で類似の事故が起こる可能性はないか？
  - その事故を防止するために、どんな安全システムを持つべきか？
  - 安全装置類は良好な状態に維持されているか？
- Beaconを読み続け、共有し続けること
- Beaconの題材として候補があれば、次のアドレスまで送ってください: [ccps\\_beacon@aiche.org](mailto:ccps_beacon@aiche.org)

**Beacon – 20年もの間、プロセス安全の教訓を共有してきた！**